

広域連系系統等の作業停止計画 調整・確認結果について (2022・2023年度の年間計画)

2022年 3月 1日

電力広域的運営推進機関

1 年間作業停止計画の調整・確認について

2 年間作業停止計画の調整・確認結果

(1) 広域調整対象作業停止計画

a 調整・確認状況

b 調整案に対する申出状況及び不調件名

c 主要作業件名

(2) 一般送配電事業者調整対象作業停止計画

a 調整・確認状況

b 不調の解決に向けた対応の依頼状況

(3) 調整・確認結果

■ 広域機関が取りまとめ、確認、承認する作業停止計画

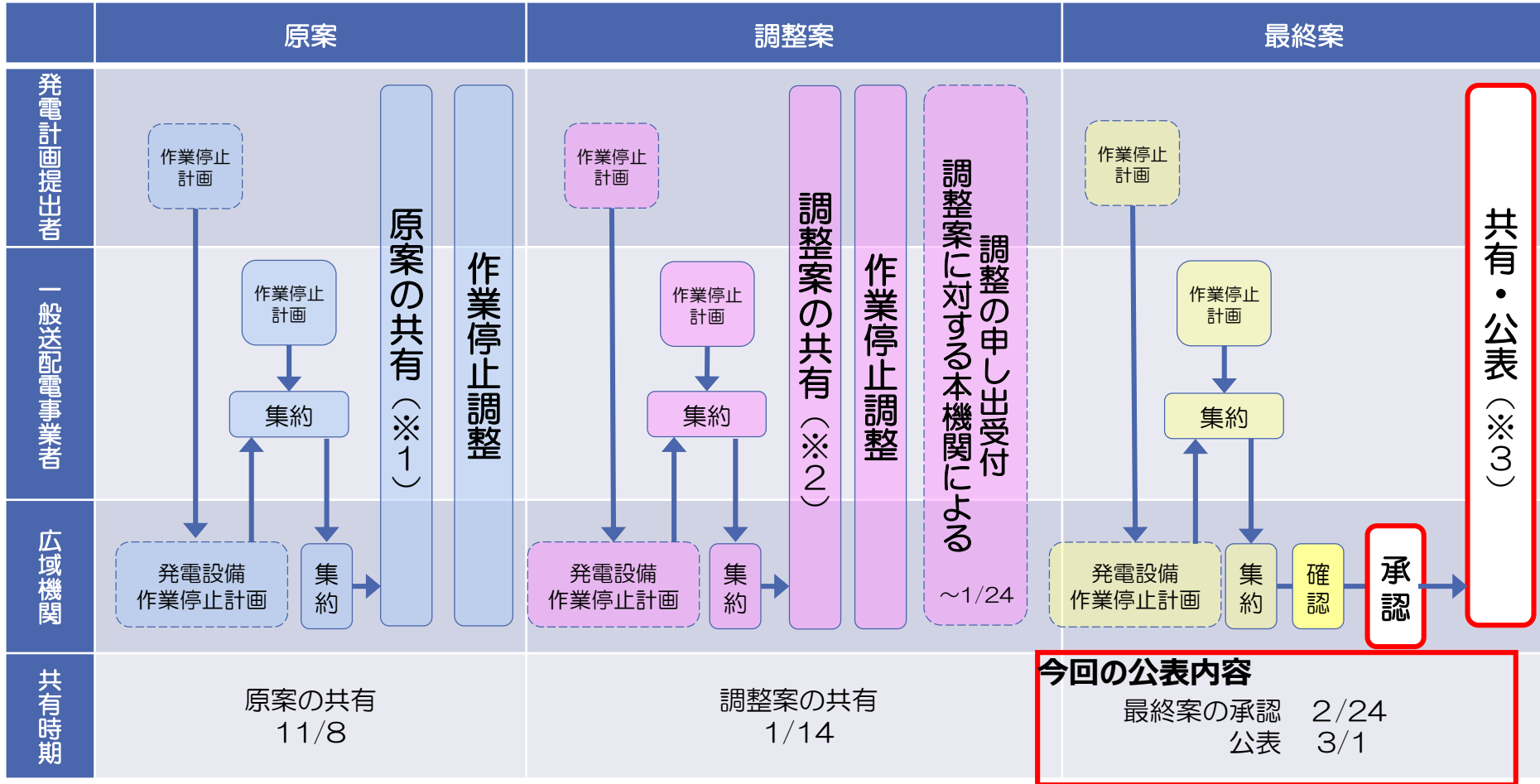
- 本機関は、広域連系系統及び連系線の運用容量に影響を与える電力設備（広域連系系統等）の作業停止計画の取りまとめを行う（業務規程第156条第1項）
- 本機関は、作業停止計画の最終案を受け取ったときは、広域連系系統等の作業停止計画を取りまとめ、別表 1 1 - 2 で定める期日までに、これを確認の上、承認する。（業務規程第161条3項）

（今回の公表事項）




■ 作業停止計画の調整等

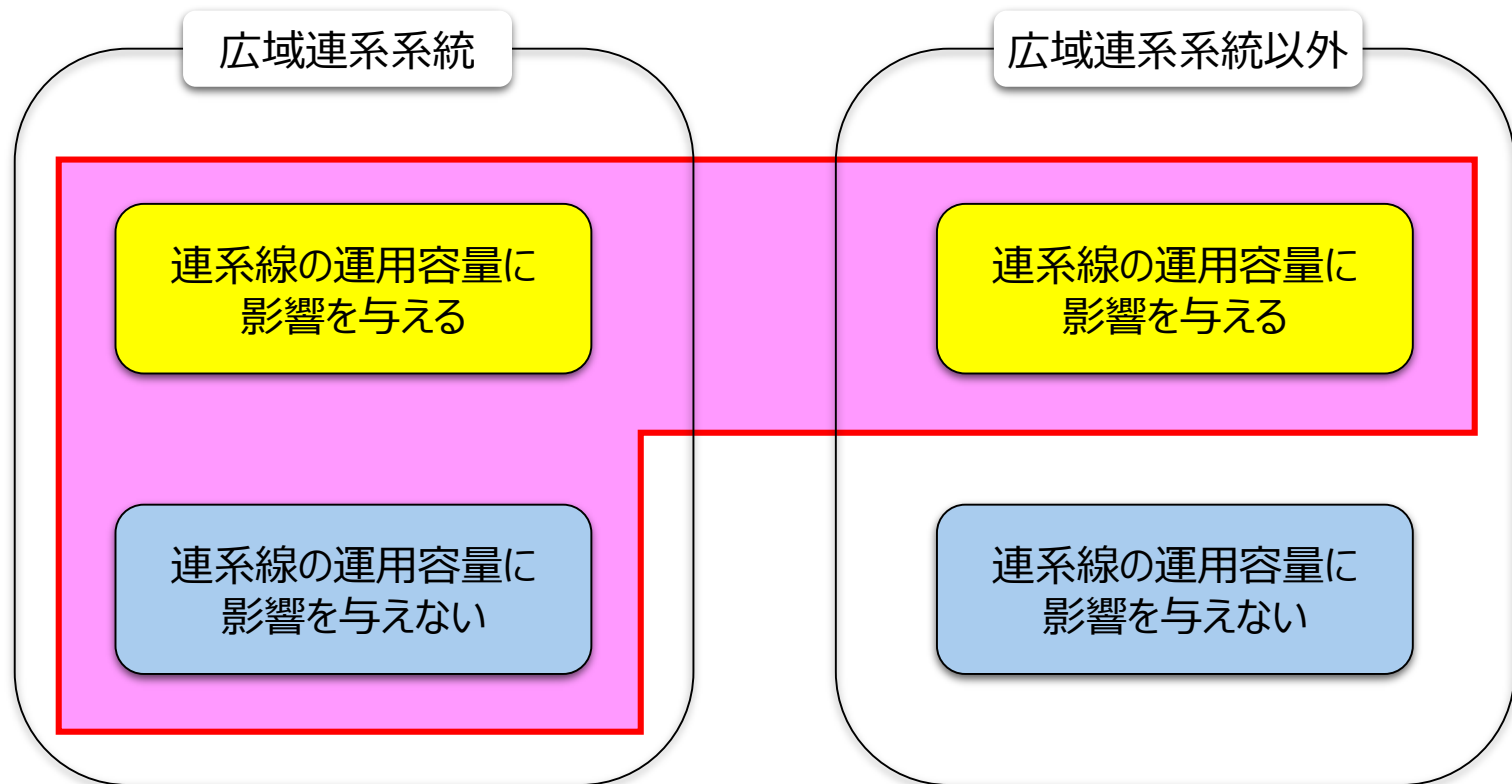
- 本機関は、①広域連系系統等のうち、連系線の運用容量に影響を与える広域連系系統等の作業停止計画の調整（広域調整対象作業停止計画）を行う。（業務規程第156条第2項）
- 一般送配電事業者は、②連系線の運用容量に影響を与えない電力設備の作業停止計画の調整（一般送配電事業者調整対象作業停止計画）を行う。（送配電等業務指針第229条）
- 本機関は、共有された広域連系系統等の作業停止計画の調整案に対して、発電計画提出者から再調整の申出があった場合は、再調整を行い、必要に応じて見直しを求める。
（業務規程第160条第2項）
- 本機関は、一般送配電事業者調整対象作業停止計画について、一般送配電事業者から不調の解決に向けた対応の依頼があった場合は、調整に向けた対応を行う。（業務規程第164条）

■ 原案受領から理事会承認後の公表に至る調整・確認フローは以下のとおり。



- ※1：広域連系系統等の作業停止計画原案を会員その他の関係する電気供給事業者その他作業停止計画提出者と共有（業務規程第157条第3項）
- ※2：広域連系系統等の作業停止計画調整案を会員その他の関係する電気供給事業者その他作業停止計画提出者と共有（業務規程第159条第3項）
（調整案に対して、発電計画提出者から本機関による作業停止調整を申し出る場合の申出期日を1/24として共有）
- ※3：広域連系系統等の作業停止計画を会員その他の関係する電気供給事業者その他作業停止計画提出者と共有（業務規程第162条第2項）
系統情報の公表（業務規程第168条）

-  広域連系系統等（広域機関が取りまとめ、確認、承認）
-  ① 広域機関調整対象作業停止計画
-  ② 一般送配電事業者調整対象作業停止計画



余 白

- 1 年間作業停止計画の調整・確認について
- 2 年間作業停止計画の調整・確認結果
 - (1) 広域調整対象作業停止計画
 - a 調整・確認状況
 - b 調整案に対する申出状況
 - c 主要作業件名
 - (2) 一般送配電事業者調整対象作業停止計画
 - a 調整・確認状況
 - b 不調の解決に向けた対応の依頼状況
 - (3) 調整・確認結果

- 広域調整対象作業停止計画について、送配電等業務指針第244条（作業停止計画の調整における考慮事項）の規定に基づき、下表のとおり、各項目の内容を確認し、停止時期や期間、同調作業停止の調整を実施した。
- その結果、以下の各項目について妥当なものと判断した。

送配電等業務指針に定める考慮事項 (第244条)	広域調整対象作業停止計画	
	主な確認ポイント	広域機関確認結果
1. 公衆安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業の必要性 ・ 安全の確保（実施時期、作業期間等） 	○
2. 作業員の安全確保		
3. 電力設備の保全		
4. 作業停止期間中の供給信頼度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各エリアにおける複数連系線の同時停止回避 ・ 同一停止区間の作業同調 ・ エリア需給状況を考慮した作業実施時期 ・ 重負荷期作業実施時の供給力、予備力 	○
5. 作業停止期間中の調整力		
6. 作業停止期間中の一般送配電事業者の供給区域の供給力		
7. 需要の抑制又は停止を伴う作業停止計画における需要家の操業計画		
8. 発電の抑制若しくは停止又は市場分断の回避	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発電設備停止作業との同調 ・ 連系線の重潮流時期の回避 	○
9. 作業停止期間の短縮及び作業の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業の内容、工程、工法 ・ 同一停止区間の作業同調 	○
10. 電気供給事業者間の公平性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発電出力抑制時の抑制箇所及び抑制量 	○
11. 複数の連系線の同時期の停止の回避	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各エリアにおける複数連系線の同時停止回避 	○

- 2022年1月14日に共有した調整案に対し、発電計画提出者から本機関による再調整の申出（1月24日〆切）は無し。

項目	件数
調整案に対する再調整の申出	0件

- 広域調整対象作業停止計画について、不調件名は無し。

項目	件数
広域調整対象作業停止計画の不調件名	0件

余 白

2(1)c 2022年度作業件名 (広域調整対象作業停止計画)

【凡例】 : 連続作業 : 毎日作業・単日作業 各○数字は総括表のNoと対応

制約箇所		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
本北海道	北本			 ①6/4~21 道南幹線1L 6/15~21 帰線	 ②7/18~8/2 第3群 ③7/28~8/2 第1極		 8/24~28 第2極	 ④9/13~9/29 道南幹線2L						
	新北本							 ①10/6~14 新北本						
東北東京間		 4/4~15 南相馬MT3他 	 4/18~22, 4/25~28 川内線1L 5/9~11 川内線1L 5/12~13, 5/16~20 川内線2L 5/23~27 川内線2L 5/31 吾妻幹線1L 6/1 吾妻幹線2L		 ①6/6~9/21 相福幹線1L		 10/11~13 南いわき幹線1L 10/17~19 南いわき幹線2L	 10/3~6 新福島4B 10/31~11/15 吾妻幹線1L	 11/21~23 いわき幹線1L 11/24~26 いわき幹線2L 10/31~11/15 吾妻幹線1L 11/28~12/2 吾妻幹線2L 12/5~8 相福幹線2L		 ②3/22~4/21 いわき幹線2L			
東京中部間	佐久間					 3/1~7/6 FC		 ①9/1~6 FC						
	新信濃		 5/21~22, 6/19 中信安全で北部系統切替			 ①7/9~19 2FC		 10/3~5 2FC (10/3~4 中信安全で北部系統切替) ②10/6~16 1FC			 ③3/15~4/22 中信安全で北部系統切替			
	東清水					 7/7 2FC			 ①10/17~11/18 2FC			 ②3/1~7/27 2FC		
	飛騨信濃	 3/25~4/5 第2極	 5/24 双極	 6/18 双極				 ①9/16~30 第2極 9/16 双極 9/30 双極						
中部関西間							 ①9/12~13 三重東近江1L (1・2L運用停止: 連続) ②9/14~15 三重東近江2L (1・2L運用停止: 連続)							
中部北陸間			 ①5/9~24 BTB(交流連系)	 ②5/30~6/17 BTB			 ③9/7~15 BTB (9/12~15 交流連系)			 ④9/17~11/27 BTB(交流連系)				
北陸関西間			 ①5/9~24 越前500甲乙母線: 交互 越前嶺南線1・2L: 交互 (1・2L運用停止: 連続)					 ②9/17~11/27 越前嶺南2L						
関西中国間		 3/1~4/11 日野幹線2L 4/12 日野幹線1L	 6/6~10 日野幹線2L 6/13~17 日野幹線1L	 6/20~24 西播東岡山線1L 6/27~7/1 西播東岡山線2L			 9/5~9 新岡山幹線1L 9/12~16 新岡山幹線2L 9/20~21 日野幹線1L 9/22~23 日野幹線2L	 10/25 山崎智頭線1L 10/26 山崎智頭線2L 10/27 中国東幹線1L 10/28 中国東幹線2L	 11/26~27 新岡山幹線2L 12/1 新岡山幹線1L					
関西四国間			 4/27 2L (第2極)									 3/13~24 第1極		
中国四国間		 3/14~4/18 本四連系統2L				 ①4/29~6/30 本四連系統1L			 11/10 本四連系統1L 11/11 本四連系統2L					
中国九州間		 ①4/12~23 関門連系統2L	 ②5/10~21 関門連系統1L											

(参考) 2022年度作業における主な調整結果

連系線		主な作業	調整内容
北海道本州間	北本	①④：電線張替 ②：第1極遮断器 (O-13) 更新他 ③：北本七飯線 1 号制御保護用CVT更新	<ul style="list-style-type: none"> ①④電線腐食が確認されており計画的な実施が必要。北本作業との同調だけでは作業必要日数を確保できないことから重負荷期を避けて実施。 ②③他直流設備停止との重複を回避して実施。
	新北本	①：バルブ制御装置 (V B E) 基板ユニット修繕	<ul style="list-style-type: none"> 他直流設備停止との重複を回避。
東北東京間		①： <u>南相馬変電所 相福幹線 C B, 線路側・母線側 L S 取替 (A)</u> ②： <u>南相馬変電所 いわき幹線 G I S スペーサ修繕 (B)</u>	<ul style="list-style-type: none"> ①定格短時間遮断電流超過対策により実施。冬季重負荷期を避けて実施。 ②重負荷期を避けて実施。
東京中部間	佐久間	①：サイリスタバルブ他定期点検他	<ul style="list-style-type: none"> 重負荷期を避け定期的に実施。
	新信濃	①：2号 B S S (系統安定化装置) 取替他 ②：1号 B S S (系統安定化装置) 取替他 ③： <u>信濃ルート作業による系統信頼度確保 (C)</u>	<ul style="list-style-type: none"> ①②設備更新計画により実施。定期点検に同調して実施。 ③リア中央新幹線への電源供給用変電所である下伊那変電所の2024年10月運開に向けて、本期間に実施する必要あり。
	東清水	①： <u>純水冷却制御装置 電装品取替 (D)</u> ②： <u>制御盤・保護盤取替 / 2 F C 系統連系試験 (E)</u>	<ul style="list-style-type: none"> ①経年劣化による部品取替、他連系線との重複停止回避。 ②経過年数から計画的な更新が必要。重負荷期の作業実施回避を優先することから、新信濃FC制約作業と重複するが、リスク評価の上、許容して実施。
	飛騨信濃	①：初回点検	<ul style="list-style-type: none"> 他直流設備停止との重複を回避。
中部北陸間		①④：交流連系に伴う停止 ②：GIS12年点検、ShR・GIS操作機構分解点検他 ③：3Tr6年点検、GIS12年点検他	<ul style="list-style-type: none"> ①④北陸関西間作業に伴う南福光交流連系。 ②③設備点検のため同調不可。
北陸関西間		①：越前変電所 500kV母線保護装置取替 ②： <u>越前嶺南線No.75～No.116電力線他張替工事 (F)</u>	<ul style="list-style-type: none"> ①装置経年により取替実施。重負荷期を避けて実施。 ②経年劣化により電線腐食が進行していることから早期に張替が必要。一定区間に区分して複数年で実施。
中国四国間		①： <u>ケーブル張替他 (G)</u>	<ul style="list-style-type: none"> 重負荷期を避け、天候安定期に実施。
中国九州間		①②：送電線補修工事	<ul style="list-style-type: none"> 重負荷期を避け、天候安定期に実施。

2(1)c 2023年度作業件名 (広域調整対象作業停止計画)

【凡例】 : 連続作業 : 毎日作業・単日作業 各○数字は総括表のNoと対応

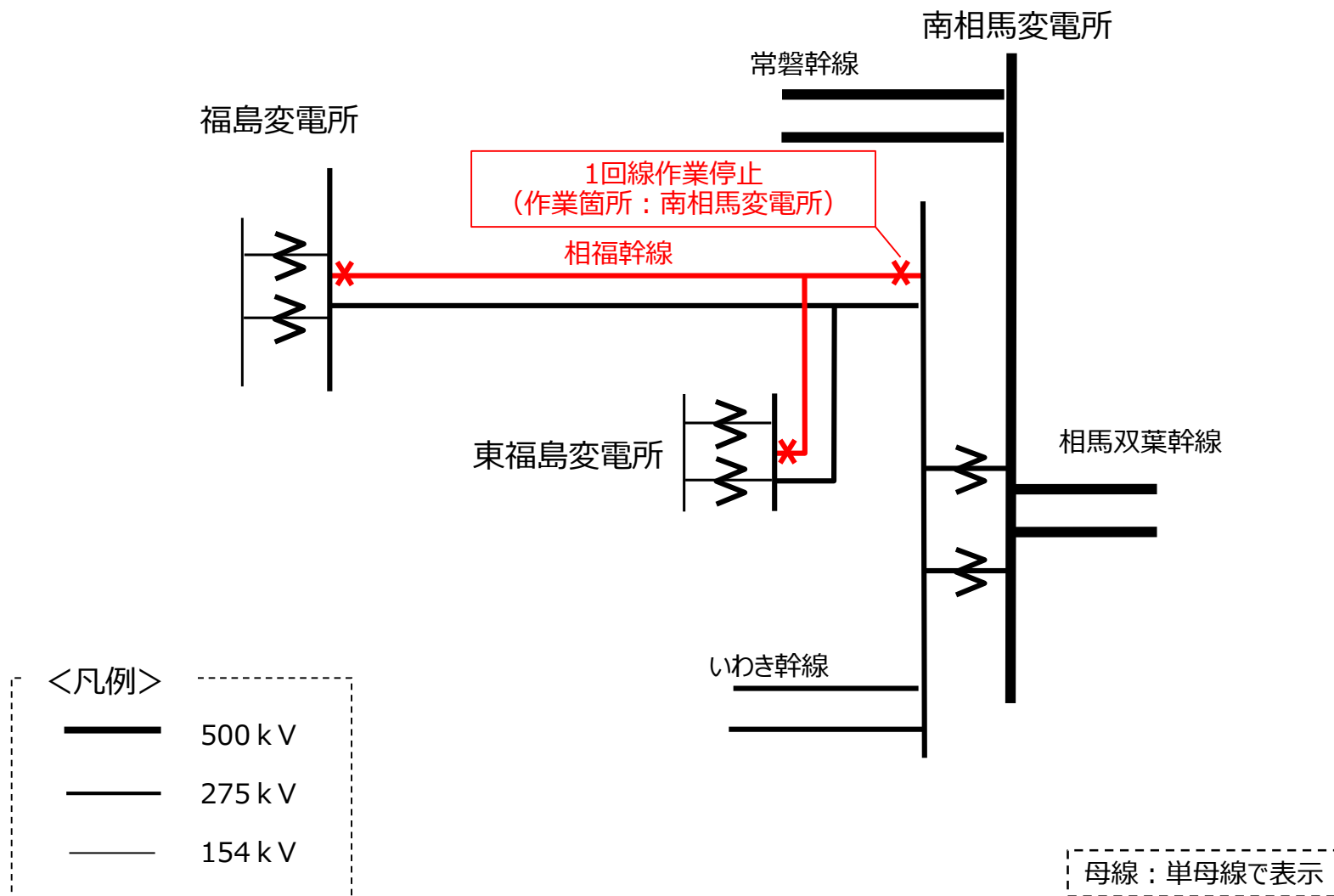
制約箇所		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本北海道	北本			 ①5/30~6/14 道南幹線2L 6/9~6/13 第1極 ②6/19~7/5 道南幹線1L			 ③8/20~29 第2極		 10/19~22 帰線 (10/20~21 第2極)				
	新北本						 ①9/1~10 新北本						
東北東京間		 3/22~4/21 いわき幹線2L		 6/6~9 南いわき幹線1L 6/13~16 南いわき幹線2L 6/20~23 川内線1L 6/27~30 川内線2L			 ①6/6~9/20 相福幹線2L			 11/5~24 いわき幹線1L 12/4~7 相福幹線1L			
東京中部間	佐久間						 ①9/1~13 FC				 ②12/9~10 FC		
	新信濃	 3/15~4/22 中信変安全て北部系統切替		 ①4/26~6/9 中信変安全て北部系統切替 6/10~11 2FC				 ②9/21~10/4 2FC		 ③10/10~26 1FC (10/24~25 中信変安全て北部系統)			
	東清水					 3/1~7/27 2FC						 ①3/1~14 2FC ②3/15~28 2FC	
	飛騨信濃						 9/20 第1極		 11/2 双極 11/18 双極	 ①11/2~18 第1極 ②11/2~6 双極 ③11/22~12/8 第2極 11/22 双極 12/8 双極			
中部関西間								 9/14~16 三重東近江1L (1・2L運用停止: 連続) 9/17~19 三重東近江2L (1・2L運用停止: 連続)					
中部北陸間				 ①6/1~19 BTB (6/1~4 交流連系)			 ②9/14~19 BTB(交流連系)			 ③9/25~12/5 BTB(交流連系)			
北陸関西間				 6/1~2 越前嶺南線1L (1・2L運用停止: 連続) 6/3~4 越前嶺南線2L (1・2L運用停止: 連続)					 ①9/25~12/5 越前嶺南1L (1・2L運用停止: 連続)				
関西中国間		 4/4~7 中国東幹線1L 4/11~14 中国東幹線2L		 6/8 山崎智頭線2L 6/9 山崎智頭線1L 6/12~15 新岡山幹線2L 6/19~23 西播東岡山線1L 6/26~30 西播東岡山線2L			 9/4~8 新岡山幹線1L				 3/5~7 日野幹線1L 3/12~14 日野幹線2L	 	
関西四国間		 4/1~2 2L 4/4~5 2L											
中国四国間		 ①4/6~25 本四連系線2L							 10/24 本四連系線1L 10/25 本四連系線2L				
中国九州間		 ①4/14~25 関門連系線1L 4/26 関門連系線2L		 ②5/10~21 関門連系線2L									

(参考) 2023年度作業における主な調整結果

連系線		主な作業	調整内容
北海道本州間	北本	①②：電線地線張替 ③：第2極サイスタバルブ細密点検	<ul style="list-style-type: none"> ①②電線腐食が確認されており計画的な実施が必要。重負荷期を避けて実施。 ③他直流設備停止との重複を回避。
	新北本	①：電線路細密点検	<ul style="list-style-type: none"> 重負荷期を避けて定例的に実施。
東北東京間		①： <u>南相馬変電所 相福幹線 C B, 線路側・母線側 L S 取替 (A)</u>	<ul style="list-style-type: none"> 定格短時間遮断電流超過対策。冬季重負荷期を避けて実施。
東京中部間	佐久間	①：取引用計量設備更新 (CVT, CT, WHM 盤) 他	<ul style="list-style-type: none"> 他直流設備停止との重複を回避。
	新信濃	①： <u>信濃ルート作業による系統信頼度確保 (C)</u> ②：バルブホール内清掃他 ③：50Hzサイスタバルブ本体、PG-LEC 盤点検他	<ul style="list-style-type: none"> ①リニア中央新幹線への電源供給用変電所である下伊那変電所の2024年10月運開に向けて、本期間に実施する必要あり。 ②③重負荷期を避けて定例的に実施。他直流設備停止との重複を回避。
	東清水	①：60サイスタバルブ制御盤他初期点検 ②：50サイスタバルブ制御盤他初期点検	<ul style="list-style-type: none"> 制御盤取替完了から一定期間 (半年程度) 経過後に計画。他直流設備停止との重複を回避
	飛騨信濃	①：飛騨変換所定期点検 (1 極) ②：双極共通制御盤点検バルブホール空調点検 (共通部) 他 ③：飛騨変換所定期点検 (2 極)	<ul style="list-style-type: none"> ①③重負荷期を避けて定例的に実施。他直流設備停止との重複を回避。 ②共通部設備の点検のため双極停止が必要。①と同調して実施。
中部北陸間		①：7 B 連系用変圧器二次ブッシング修理ほか ②③：交流連系に伴う停止	<ul style="list-style-type: none"> ①関連連系線停止との重複を回避。 ②中部関西間作業に伴う南福光交流連系。 ③北陸関西間作業に伴う南福光交流連系。
北陸関西間		①： <u>越前嶺南線 No.75~No.116 電力線他張替工事 (F)</u>	<ul style="list-style-type: none"> 経年劣化により電線腐食が進行していることから早期に張替が必要。一定区間に区分して複数年で実施。
中国四国間		①：ケーブル接続箱解体調査、ケーブル接続部細密点検他 ②：ケーブル内部点検、ケーブル接続箱解体調査他	<ul style="list-style-type: none"> ①②重負荷期を避け、天候安定期に実施。
中国九州間		①②：送電線補修工事	<ul style="list-style-type: none"> 重負荷期を避け、天候安定期に実施。

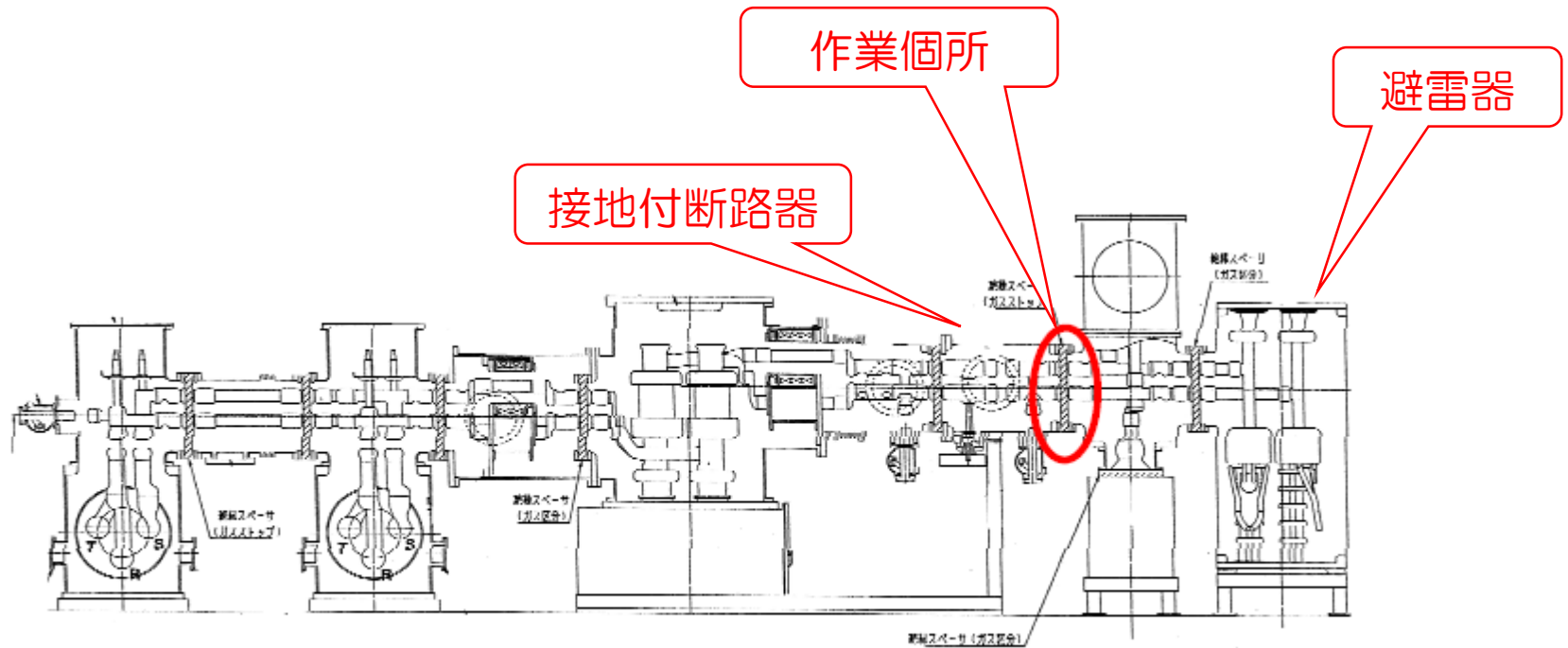
項目	内容
作業箇所	南相馬変電所
作業内容	C B, 線路側・母線側 L S 取替
停止区間	相福幹線 1 回線
作業停止期間	1 号線 : 2022年6月6日 09:00 ~ 2022年 9月21日 17:30 (108日間) 2 号線 : 2023年6月6日 09:00 ~ 2023年 9月20日 17:30 (107日間)
作業の必要性	南相馬変電所 相福幹線 1・2 号線の遮断器と断路器は、2022年度末以降、南相馬変電所至近端における相福幹線事故時の故障電流が、定格遮断電流および定格短時間電流を超過する想定であることから取替が必要である。
作業日程設定理由	遮断器・断路器の納期を確保のうえ、冬季重負荷期の回避を優先して期間を設定。

【概略図】



項目	内容
作業箇所	南相馬変電所
作業内容	いわき幹線2号GISスペーサ修繕
停止区間	いわき幹線2号線
作業停止期間	2023年3月22日 09:40 ～ 2023年4月21日 17:20 (31日間)
作業の必要性	いわき幹線2号の避雷器～接地付断路器間のGISガス区分スペーサに異常（ひび割れ）があり、現在応急処置で対応していることから、恒久対策を実施する。
作業日程 設定理由	重負荷期を避けて実施。

【概略図】



275kV GIS内部構造図

項目	内容
作業箇所	中信変電所
作業内容	信濃ルート作業による系統信頼度確保
停止区間	中信変 全て北部系統切替 ※新信濃FC 60Hz→50Hz向き運用容量：最大60万kW低下（運用容量0万kW）
作業停止期間	2023年3月15日 00:00 ～ 2023年4月22日 24:00（連続39日間） 2023年4月26日 00:00 ～ 2023年6月 9日 24:00（連続45日間）
作業の必要性	リニア中央新幹線への電源供給のため下伊那変電所を新設するとともに、500kV南信幹線から同変電所に分岐する下伊那分岐線を新設することから、南信幹線の一部鉄塔の建替が必要となる。
作業日程 設定理由	2024年10月に下伊那変電所を運開するには、当該期間に作業を実施する必要がある。 南信幹線残回線事故時に新信濃FCから受電（50Hz→60Hz）する必要があるため、新信濃FC停止作業との同調は不可である。

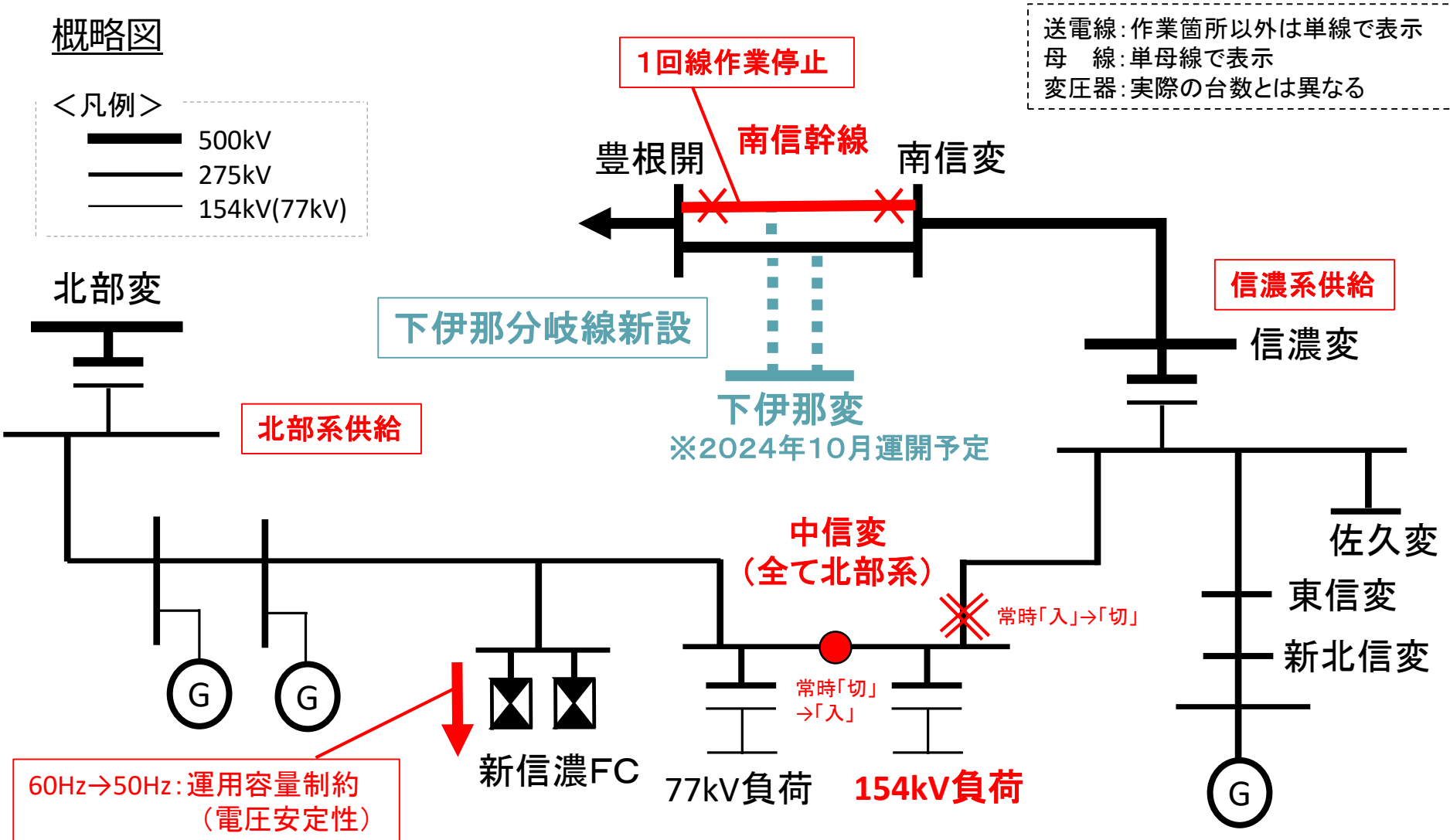
中信変電所の154kV負荷は常時は信濃系供給であるが、南信幹線1回線停止に伴い、供給信頼度の観点から、北部系供給へ切替。その結果、電圧安定性面から、新信濃FCに運用容量制約が発生。（新信濃FCが重潮流になると中信変の電圧が大きく低下する）

概略図

<凡例>

- 500kV
- 275kV
- 154kV(77kV)

送電線：作業箇所以外は単線で表示
母線：単母線で表示
変圧器：実際の台数とは異なる



項目	内容
作業箇所	東清水変電所
作業内容	純水冷却制御装置 電装品取替
停止区間	2 F C
作業停止期間	2022年10月17日 08:00 ~ 2022年11月18日 10:00 (連続33日間)
作業の必要性	経年20年超となることから、故障発生時のFC長期停止リスクを考慮し、部品取替が必要と判断。
作業日程 設定理由	夏季重負荷期を避け設定し、直流技術員の確保およびその他直流設備との重複停止を回避して実施。本作業と同期間に実施する東清水変電所 変換・調相Trブッシング修理は、作業期間中、変電所構内道路を占有することから、2023年以降に予定されている1.3FC新設関連工事の資機材搬入が不可となるため、2022年に実施する必要がある。

電装品取替対象

項目	取替材料	取替理由
電源装置 純水ポンプ制御 エアクーラー制御 ヒータ制御	AC/DC電源(SW・MCCB) 水温・水質等、各センサーの変換器 水温・水質等、各センサーの警報・計測 R y	経年劣化（経年20年超過）に伴う不動作・誤動作により、F C 運転への影響が懸念されるため。 （FC長期停止リスクあり）
保護・監視装置 (補助Ry他)	トリップ・表示 R y、接点増幅 R y	

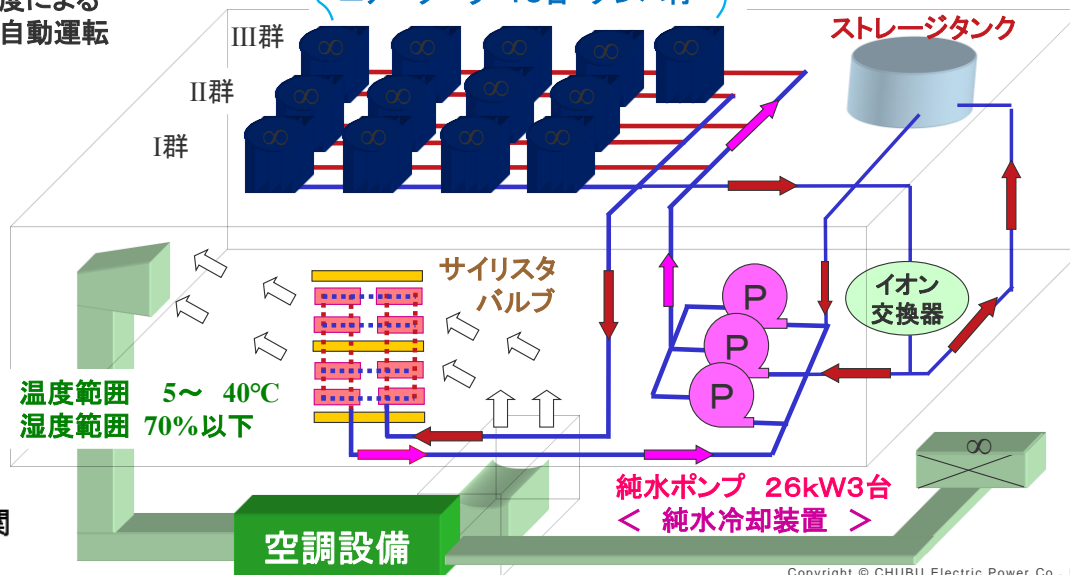
サイリスタバルブ純水冷却装置のシステム構成

冷却性能 : 1300kW
純水循環流量 : 1800t/分

純水温度による
群制御自動運転

サイリスタバルブの冷却水は絶縁性能の良い純水を使用しており、イオン交換樹脂を通して純度を一定値以上に保ち、循環させた熱は、エアクーラから空气中に放出される

エアクーラ 13台 ダンプ付

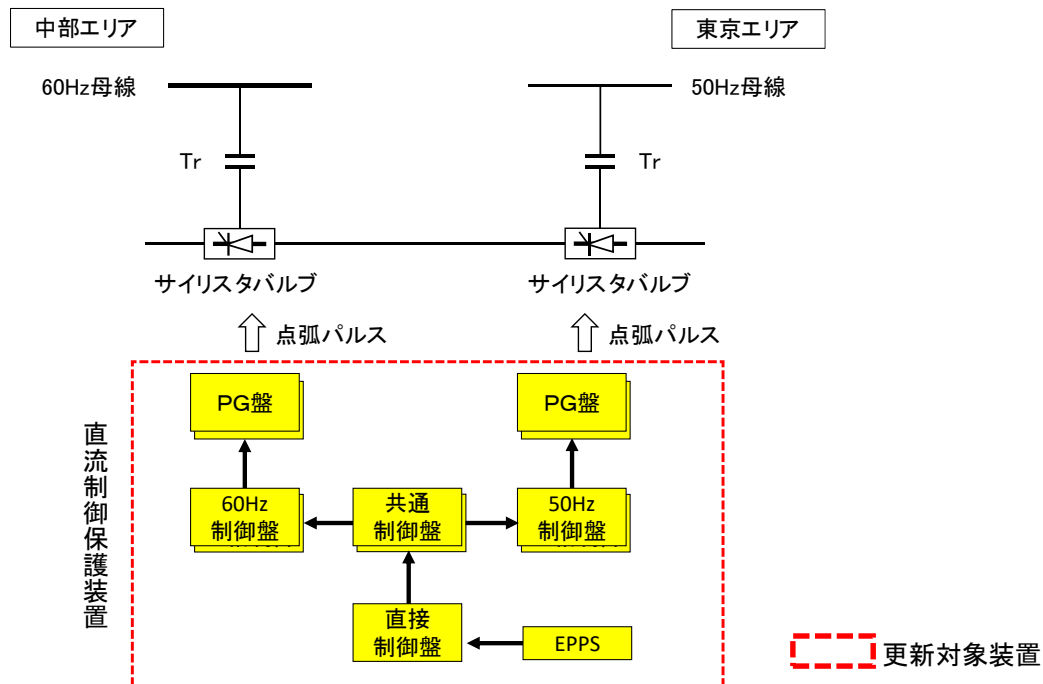


項目	内容
作業箇所	東清水変電所
作業内容	制御盤・保護盤取替／2 F C 系統連系試験
停止区間	2 F C
作業停止期間	2023年3月1日 08:00 ～ 2023年7月27日 18:00（連続149日間）
作業の必要性	東清水 F C の制御保護装置は1996年製であり、主要部品の製造中止に伴う製作者による保守対応期限を迎えているため計画的に実施する必要がある。
作業日程 設定理由	冬季重負荷期を避け設定し、直流技術員の確保およびその他直流設備との重複停止を可能な限り回避して実施。健全性を確認するため、6/16～7/27の計42日間試験を実施する。

概略工程表

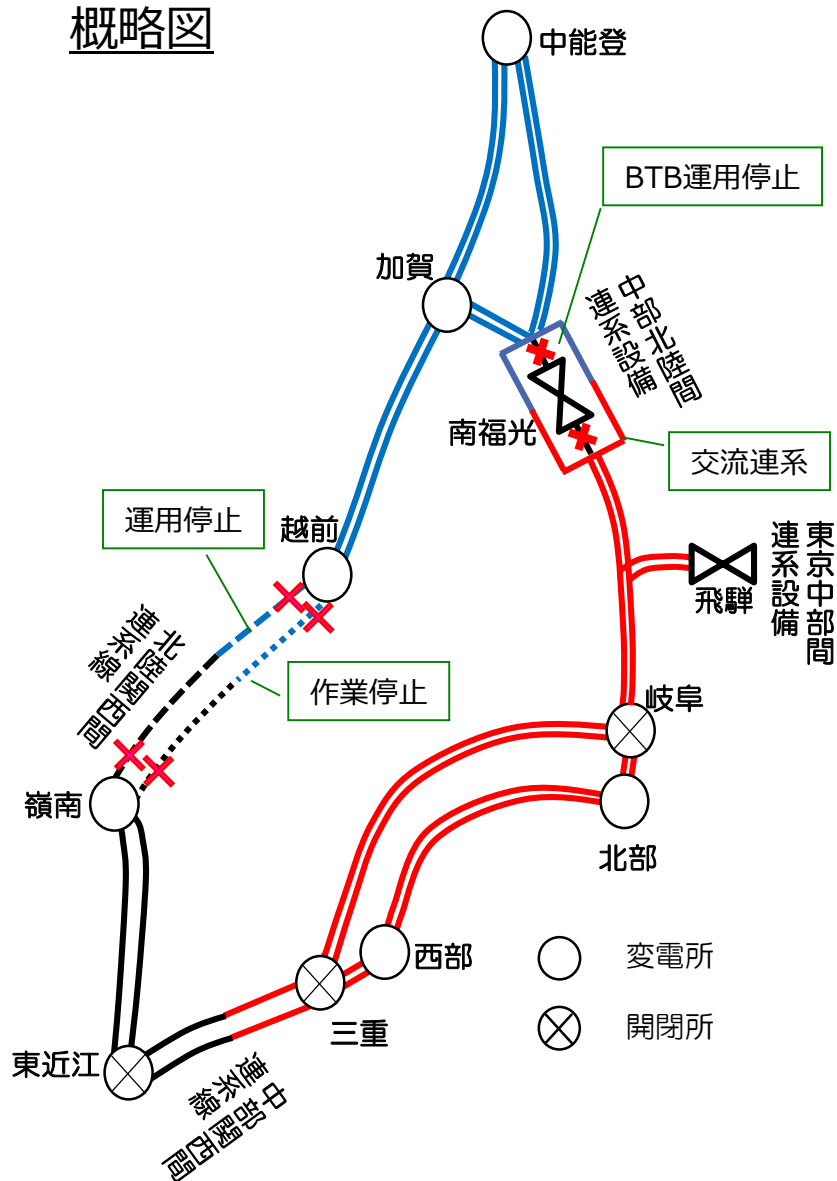
2023年		3月	4月	5月	6月	7月
停止期間	東清水FC	3/1				7/27
工事項目	新旧装置切替					
	実機, 模擬DEB, 制御所対向試験					
	低圧通電試験					
	系統連系試験				6/16	7/27

概略図



項目	内容
作業箇所	越前嶺南線
作業内容	越前嶺南線 No. 75～No. 116 電力線他張替工事
停止区間	越前嶺南線1回線
作業停止期間	2号線：2022年9月17日 8:00～2022年11月27日 18:00（連続72日間） 1号線：2023年9月25日 8:00～2023年12月 5日 18:00（連続72日間）
作業の必要性	越前嶺南線の設備は1974年の運用開始から経年47年であり、腐食により老朽化が進んでいることから設備事故防止のため電力線張替が必要。
作業日程 設定理由	関連系統作業との重複を避けて実施。

概略図



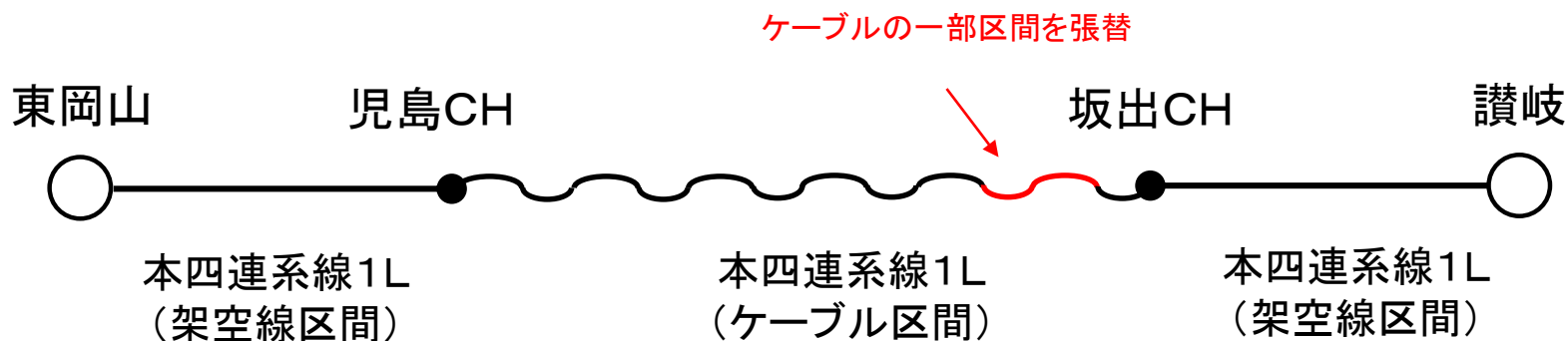
- 北陸関西間連系線 1 回線停止時の運用
 - N-1故障発生時のルート断や、北陸フェンス運用容量の大幅な低下を回避するため、北陸関西間連系線を1回線停止する場合は、北陸関西間連系線をルート開放し、南福光地点で交流連系する。(BTBは運用停止)

項目	内容
作業箇所	本四連系線
作業内容	一部区間ケーブル張替
停止区間	本四連系線 1 L
作業停止期間	2022年4月29日 08:00 ～ 2022年6月30日 17:00（連続63日間）
作業の必要性	設備の健全性確保のため、定期的にケーブル内の油中ガス分析を実施しており、分析データを踏まえた劣化の進展予測の結果、2022年度にはケーブルの一部区間張替が必要であると判断されたため。
作業日程 設定理由	可能な限り関連発電機停止期間に実施し、軽負荷期であるため上記期間での実施。 関連地域間連系設備との重複停止を避けて実施。 作業規模により63日間の停止が必要。

概略図

中国エリア

四国エリア



【凡例】

- 変電所
- 500kV送電線 (架空線)
- 〰 500kV送電線 (ケーブル)
- ケーブルヘッド(CH)

- 1 年間作業停止計画の調整・確認について
- 2 年間作業停止計画の調整・確認結果
 - (1) 広域調整対象作業停止計画
 - a 調整・確認状況
 - b 調整案に対する申出状況及び不調件名
 - c 主要作業件名
 - (2) 一般送配電事業者調整対象作業停止計画
 - a 調整・確認状況
 - b 不調の解決に向けた対応の依頼状況
 - (3) 調整・確認結果

- 一般送配電事業者調整対象作業停止計画については、送配電等業務指針第244条（作業停止計画の調整における考慮事項）の規定に基づき、一般送配電事業者が下表のとおり、各項目の内容を確認し、停止時期や期間、同調作業停止の調整を実施。
- 当機関は、その調整が完了していることを、各一般送配電事業者に確認した。
- その結果、以下の各項目について妥当なものと判断した。

送配電等業務指針に定める 考慮事項（第244条）	一般送配電事業者調整対象作業停止計画	
	一般送配電事業者確認結果	広域機関確認結果
1.公衆安全の確保	○	○ (次シート参考のとおり)
2.作業員の安全確保	○	
3.電力設備の保全	○	
4.作業停止期間中の供給信頼度	○	
5.作業停止期間中の調整力	○	
6.作業停止期間中の一般送配電事業者の供給 区域の供給力	○	
7.需要の抑制又は停止を伴う作業停止計画にお ける需要家の操業計画	○	
8.発電の抑制若しくは停止又は市場分断の回避	○	
9.作業停止期間の短縮及び作業の効率化	○	
10.電気供給事業者間の公平性の確保	○	
11.複数の連系線の同時期の停止の回避	—	

- 本機関は、一般送配電事業者調整対象作業停止計画について、送配電等業務指針第244条（作業停止計画の調整における考慮事項）の規定に基づく調整が完了していることを、以下のとおり、最終案として2月10日に確認した。

エリア	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州	沖縄	合計
調整完了 件数	940 件	869 件	2830 件	2424 件	645 件	1211 件	761 件	678 件	2625 件	246 件	13229 件
調整未完了 件数※	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件

※原案等で提出された件名のうち調整が完了していない作業停止計画

- 一般送配電事業者調整対象作業停止計画について、一般送配電事業者から本機関へ不調の解決に向けた対応の依頼はなかった。

項目	件数
不調の解決に向けた対応の依頼	0件

- 1 年間作業停止計画の調整・確認について
- 2 年間作業停止計画の調整・確認結果**
 - (1) 広域調整対象作業停止計画
 - a 調整・確認状況
 - b 調整案に対する申出状況及び不調件名
 - c 主要作業件名
 - (2) 一般送配電事業者調整対象作業停止計画
 - a 調整・確認状況
 - b 不調の解決に向けた対応の依頼状況
 - (3) 調整・確認結果**

■ 広域機関が取りまとめ、確認、承認する年間作業停止計画について

- ①送配電等業務指針244条の作業停止計画の調整における考慮事項に基づいていること（シート8、30）
- ②広域調整対象作業停止計画の調整案に対し、発電計画提出者から再調整の申出がないこと（シート9）
- ③一般送配電事業者調整対象作業停止計画について、不調がないこと（シート31、32）

上記、確認事項①～③を確認し妥当と判断したことから承認する